

# NATIONAL WOMEN'S EDUCATION CENTER

概要  
2018

独立行政法人 国立女性教育会館

男女共同参画社会を実現するための推進機関



## ご挨拶

ナショナルセンターとして  
男女共同参画社会の実現に  
前進してまいります

独立行政法人 国立女性教育会館  
理事長 内海房子

国立女性教育会館(NWEC)は、成人女性のための社会教育施設として昭和52(1977)年に設立されました。平成13(2001)年に独立行政法人となり、昨年11月で40周年を迎えることができました。この間、研修の実施や女性教育に関する調査研究やNWECに集積された情報の提供などを通じ、国、地方自治体、男女共同参画センターや大学、企業、女性団体等と連携を図りながら、男女共同参画社会の実現のための推進機関として役割を果たしてまいりました。

しかしながら、政策・意思決定過程への女性の参画が少なく、GGI(ジェンダー・ギャップ指数)が144か国中114位に低下していることや、男性中心の働き方、女性に対する暴力など課題が山積しており、我が国の男女共同参画社会の実現は未だ道半ばにあると言えます。

こうした状況を踏まえ、平成27(2015)年に策定された「第4次男女共同参画基本計画」と第4期中期目標・中期計画に基づき、NWECはさらに男女共同参画のネットワークの中核としての役割を果たすべく、今後もより積極的に充実・深化した事業の展開に取り組む所存です。

今年は、女性教育や男女共同参画施策等に関わった全国的な団体・個人の史資料の収集保存及び提供等を行っている「女性アーカイブセンター」が開設されて10周年となり、それを記念した展示を今年度前半で行っています。また、新しく「教職員を対象とした男女共同参画研修」の本格実施や、利用者の裾野を広げるためのPFI事業者自主事業「NWECアニバーサリーウィーク」も予定しており、事業のさらなる充実を図ってまいります。

引き続き皆様のご指導、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 目次

目 的	2
沿 革	3
事 業	4
女性教育情報センター・女性アーカイブセンター	5
女性情報ポータル“Winet”(ウィネット)	6
利用状況	7
トピックス	8
施 設	11
組織・決算	14



## 目的



独立行政法人国立女性教育会館(NWEC)は、女性教育指導者及び女性教育関係者に対する研修、女性教育に関する専門的な調査及び研究等を行うことにより、女性教育の振興を図り、もって男女共同参画社会の形成の促進に資することを目的としている(独立行政法人国立女性教育会館法第3条)。

NWECは、その目的を達成するために文部科学大臣より示されている第4期中期目標に基づき、「研修」「調査研究」「広報・情報発信」「国際貢献」の4つを有機的に連携させつつ各事業を実施している。

## 沿革

昭和52年 7月	文部省の附属機関として 国立婦人教育会館が設置される
昭和52年11月	開館式
昭和54年11月	情報図書館開室(昭和62年11月から 「婦人教育情報センター」 平成13年1月から 「女性教育情報センター」と改称)
昭和57年 6月	皇太子殿下・同妃殿下行啓
昭和62年 5月	利用者100万人を超える
平成 6年 4月	「国立婦人教育会館将来構想検討委員会」が 「国立婦人教育会館の将来について」を報告
平成 8年11月	利用者200万人を超える
平成 9年 1月	愛称を「ヌエック」に決定
平成13年 1月	名称を「国立女性教育会館」に改称
平成13年 4月	独立行政法人化
平成18年 4月	女性情報ポータル “Winet”(ウィネット)公開
平成18年 6月	利用者300万人を超える
平成20年 6月	女性アーカイブセンター開設
平成22年11月	研修棟、宿泊棟等の改修工事
平成24年 8月	「国立女性教育会館の在り方に関する 検討会」が報告書を公表
平成25年 9月	利用者400万人を超える
平成27年 7月	PFI(プライベート・ファイナンス・イニシアティブ) 制度導入



開館式で挨拶をする福田赳夫首相(当時)



皇太子殿下・同妃殿下行啓(当時)



女性アーカイブセンター開設



# 事業

NWECは女性教育にとどまらず、幅広く男性、若年層、大学や企業等を対象とした男女共同参画に係る事業を展開し、第4次男女共同参画基本計画等で示された政府の政策に沿って、第4期中期目標・中期計画を達成するため、研修、調査研究、広報・情報発信、国際貢献を実施する。

これまでに蓄積したさまざまな資源を活用し、女性の活躍を推進するため、地方自治体、女性団体、企業や大学を始めとした教育機関との連携・ネットワークを一層充実させ、広報・情報発信を行い、社会に対して幅広くアプローチすることで、男女共同参画社会の実現を目指す。

## 平成30年度事業

### 研修事業

- (1)女性活躍推進のためのリーダーの育成
  - 地域における男女共同参画推進リーダー研修<女性関連施設・地方自治体・団体>(5月)
  - 男女共同参画推進フォーラム(8月~9月)
  - 企業を成長に導く女性活躍促進セミナー(10月)
  - 学習オーガナイザー養成研修(12月)
- (2)次代を担う女性人材の育成
  - 女子中高生夏の学校2018~科学・技術・人との出会い~(8月)
  - 女子大学生キャリア形成セミナー(平成31年2月)
- (3)困難な状況に置かれている女性を支援するための人材の育成
  - 女性関連施設相談員研修(6月)
- (4)教育分野における女性参画拡大に向けた取組
  - 教職員を対象とした男女共同参画研修(11月)
  - 大学等関係者向けの学習機会の提供

### 調査研究事業

- (1)男女共同参画統計に関する調査研究
- (2)男女の初期キャリア形成と活躍推進に関する調査研究
- (3)女性教員の活躍推進に関する調査研究
- (4)eラーニングによる教育・学習支援推進

### 国際貢献事業

- (1)アジア地域における男女共同参画推進のための人材育成
  - アジア地域における男女共同参画推進官・リーダーセミナー(10月)
- (2)国際的課題への対応
  - 課題別研修「アセアン諸国における人身取引対策協力促進」(10月~11月/国際協力機構受託事業)
  - NWECグローバルセミナー(12月)
  - 国際会議等で得た情報の発信

### 広報・情報発信事業

- (1)女性の活躍推進等に資する情報の一元化・発信
  - 情報資料の収集・整理・提供
  - ポータルとデータベースの整備充実
  - 図書パッケージ貸出
  - NWEC実践研究の刊行
- (2)男女共同参画等に関する歴史的資料の収集・保存の推進
  - 女性アーカイブ機能の充実と全国の女性アーカイブとのネットワークの強化
  - アーカイブ保存修復研修(11月)
- (3)より多様な主体への積極的な広報活動の充実・強化
  - 広報活動の充実・強化

# 女性教育情報センター

<https://www.nwec.jp/facility/center.html>

## 情報サービス

- 閲覧** | 女性教育情報センター内で自由に閲覧できる。(NWEC本館2階)  
開 室:9:00~17:00  
休室日:年末年始、会館休館日
- 貸 出** | 館内貸出及び館外貸出、女性センター・図書館等を通じた館外貸出を行っている。
- 図書パッケージ貸出サービス** | 大学や高校、女性関連施設、公共図書館を対象に、様々なテーマにあわせて図書をまとめて貸出するサービスを行っている。
- レファレンスサービス** | 利用者の学習・調査・研究を援助するために、当センター所蔵の資料や各種データベースを活用して様々な質問に答えている。電話や文書、eメールでも受け付けている。
- 文献複写サービス** | 所蔵資料について、文献複写サービスを行っている。電話やインターネット・文書による申込みも受け付けている。

## 展示の実施

所蔵資料の紹介を目的とする展示を行っている。

## 情報研修プログラムの提供

利用者の希望に応じて、資料・情報の検索・利用方法等の実技研修を随時行っている。



### ◇収集資料 (平成29年3月31日現在)

項目	和	洋	計	
	累計	累計	累計	
図書	図書	82,802	24,602	107,404
	地方行政資料	27,208	8	27,216
	計(冊数)	110,010	24,610	134,620
逐次刊行物	雑誌	3,237	764	4,001
	新聞	74	1	75
その他	新聞切り抜き	433,209	—	433,209
	オーディオビジュアル資料	262	12	274

### ●研修棟図書館出張コーナー

研修棟1・2階のラウンジに女性教育情報センターの図書・雑誌を置いており、その場で自由に閲覧できる。女性教育情報センター(本館2階)にて貸出も行っている。



# 女性アーカイブセンター

女性教育や男女共同参画施策等に関わった全国的な女性団体や女性の史・資料の収集・整理・保存・提供を行っている。目録や一部の画像はデータベース「女性デジタルアーカイブシステム」でインターネット公開している。

本館3階の閲覧室では閲覧が可能(要事前連絡)。

本館1階展示室では、「所蔵展示」と「企画展示」を実施している



(ウィネット)  
**女性情報ポータル“Winet”**  
<http://winet.nwec.jp>

ウィネットは、女性の現状と課題を伝え、女性の地位向上と男女共同参画社会の形成を目指した情報の窓口である。



**女性情報ナビゲーション**  
インターネット上の有用な資源への道案内

**NWEC作成データベース**

**女性情報CASS**  
会館作成のデータベース及び他の関係機関のデータベースの横断検索

**文献情報データベース**  
女性教育情報センターが所蔵する図書、雑誌、新聞記事などが検索できます。

**女性のキャリア形成支援サイト**  
女性が様々な新しい分野へチャレンジし、キャリアを形成していくための多様な事例集(ロールモデル)。

**女性情報レファレンス事例集**  
女性関連施設でよくある情報相談(レファレンス)を、Q&Aの形式でまとめた事例集。

**海外女性情報専門データベース** 館内で利用可能なデータベース

**The Gerritsen Collection**  
オランダ最初の女性医師とその夫が収集した、女性に関する研究コレクション数千点の全文記事を収録。

**GenderWatch**  
女性問題に関する学術雑誌のほか、新聞、ニュースレター、パンフレット、会議録など数十万件以上の全文記事を収録。

**国立女性教育会館リポジトリ**  
会館の研究成果を永続的に蓄積・保存するデータベース。

◇国立女性教育会館作成の主なデータベース (件数は平成29年3月31日現在)

(女性教育情報センター)所蔵資料のデータベース	図書 (107,404件)	一般図書、中央省庁の調査や報告書、女性団体・グループ刊行の資料等を「女性情報シソーラス」に基づいたキーワードから検索できる。
	雑誌 (4,001件)	雑誌、大学・研究所等の紀要類、地方自治体発行の男女共同参画広報誌、女性団体・グループが発行したミニコミ等を検索できる。
	地方行政資料 (27,216件)	地方自治体の男女共同参画担当課/教育委員会等が刊行した資料を「女性情報シソーラス」に基づいたキーワード等から検索できる。
	和雑誌記事 (72,473件)	所蔵雑誌から選定した男女共同参画、女性・家庭・家族に関する記事を「女性情報シソーラス」に基づいたキーワード等から検索できる。
	新聞記事 インデックス (433,209件)	以下の新聞記事を見出し、記事中の人名、新聞名、日付、キーワードから検索できる。 [昭和52年10月～昭和63年]全国紙・地方紙約60紙に掲載され、話題となった女性(人材)に関する記事。 [平成元年度以降]全国紙・地方紙約45紙に掲載された男女共同参画及び女性・家庭・家族に関する記事。
女性関連施設データベース (概要500件/事業35,903件/情報事業 360件/相談事業 316件)	全国の女性/男女共同参画センター・働く婦人の家の概要、学習・研修事業、情報事業、相談事業について、毎年調査した各施設の現在の活動がわかるデータベース。	
女性と男性に関する統計データベース (498件)	女性及び男性の状況を把握する上で重要な日本の統計を、あらゆる分野にわたってとりあげたデータベース。統計表は、エクセル形式でダウンロードできる。	
男女共同参画人材情報データベース (835件)	男女共同参画社会推進のための事業企画、また施策の実施に参考となる会館の各種事業に協力した講師、委員等の人材情報データベース。	

そのほかのデータベースは“Winet”をご覧ください。

## 利用状況

### 年度別施設利用状況（昭和52年度～平成28年度）

年 度	平成28年度			累計(昭和52年度～)		
	項目	宿泊利用	日帰り利用	小 計	宿泊利用	日帰り利用
利用団体数	894	2,341	3,235	40,315	48,126	88,441
延利用者数(人)	62,616	63,932	126,548	3,005,863	1,428,784	4,434,647

### 女性教育情報センター年度別利用状況 (昭和54年度～平成28年度)

年 度		平成28年度	累計 (昭和54年度～)
資料等利用者総数(人)		5,760	87,704
貸出数	図書(冊)	8,579	120,432
	雑誌(冊)	488	33,671
	研修用貸出資料(冊)	40	41,961
レファレンスサービス(件)		821	39,117
文献複写サービス(件)		795	19,559
館外貸出サービス(件)		221	3,874

※資料等利用者総数は、平成18年度より集計

- レファレンスサービス 昭和56年度開始
- 文献複写サービス 昭和56年度開始
- 相互貸借サービス 平成4年度開始
- 図書パッケージ貸出サービス、個人貸出サービス 平成22年度開始



## 出版物の紹介

### 第61回国連女性の地位委員会(CSW)早わかり

平成29年3月に国連本部で開催された第61回国連女性の地位委員会(CSW)についての学習資料を作成した。第61回CSWの主要議題や合意結論、会期中に開催されたイベントに関する情報を掲載している。



### 主催事業等実施報告書

NWECで実施した研修、調査研究、広報・情報発信、国際貢献の4つの事業の成果をまとめ、毎年度『主催事業等実施報告書』として作成している。



### NWEC実践研究

「女性活躍と地方創生」をテーマとした『NWEC実践研究』第8号を刊行した。女性の活躍促進と地域創生について、これまでの女性の活躍を進める政策の流れや地域の連携の在り方を論じた論文、全国各地で実践されている創意工夫に溢れた新しい事例紹介のほか、NWECが実施した40周年記念事業を掲載している。

### 本、あります。

女性教育情報センターでは、年に4テーマの資料展示を行っており、テーマに合わせた図書案内冊子「本、あります。」を発行している。平成29年度は、既刊の号と新着図書をまとめた特別号を作成し、所蔵資料の紹介を行った。



その他の出版物はNWECホームページ(NWECとは/出版物・報告書)へ。



# トピックス

## 調査研究事業等

平成29年度事業から一部を紹介します。

### 「男女の初期キャリア形成と活躍推進に関する調査研究」実施

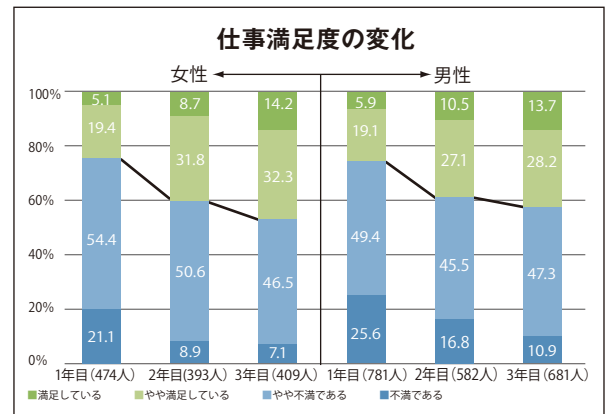
本調査研究は、平成27年に民間企業の正規職について男女を5年間追跡するパネル調査研究である。

パネル調査とは、同一個人を追跡することで、その人の意識やおかれている環境などについて、複数時点で情報を収集する手法である。新規卒業者が直面する職場環境などは、その後のキャリア形成を左右するとして、「初期キャリア期(就職後まもない時期)」の重要性が注目されている。そこでこの調査手法によって、初期キャリア期のキャリア意識はどの程度変化するのか、またそれらの変化はどのような要因と関連して生じるのかを明らかにする。

平成27年～平成29年の各10月に実施した第一回調査(入社1年目)～第三回調査(入社3年目)によると、仕事満足度については、各年及び入社1年目から3年目にかけての変化ともに、男女差はあまりみられない。男女ともに入社1年目から2年目にかけて、「満足」(=満足している+やや満足している)が比較的大きく減少する。これに比べて、入社2年目から3年目にかけての減少幅は小さい。

一方、すでに入社1年目から、もしくは入社2年目・3年目になって、男女差が生じた項目もある。

詳しくはNWECホームページ(調査研究)へ。



### NWEC CHANNEL(YouTube)による動画配信・Instagramを開始

NWECが主催した研修やセミナーの基調講演やシンポジウムの様子を YouTubeで逐次配信している。「NWEC CHANNEL」で検索、もしくはホームページトップ画面右上部の「研修・イベント」→「eラーニング・動画配信」からアクセスできる。



また、女子大学生、働き始めて間もない女性などのユース女性に届くように、Instagramを始めた。NWECの研修やイベント情報などをアップしている。

Instagramのアカウントがある人は@nwec\_officialからフォロー、もしくはホームページトップページからアクセスできる。

### eラーニングによる教育・学習支援に関する調査研究

ICT技術(情報通信技術)の進展とともに、インターネットを活用した学習が広がっている。NWECでも、放送大学と連携し、女性のキャリア形成支援に資するオンライン講座として、「女性のキャリアデザイン入門(16)」と「女性のキャリアデザインの展開(17)」を作成した。現在、動画やオンライン上のディスカッション機能などを用いて、女性が直面するキャリア形成上の困難やそれを解決するための情報、多様なキャリア形成について学ぶ機会を提供している。男女共同参画センターなどの学習機関や相談窓口に関する情報も提供している。

平成29年度は、自治体や団体リーダーを対象とした「地域における男女共同参画推進リーダー研修」で、eラーニングを活用した事前学習を取り入れた。

詳しくはNWECホームページ(調査研究)へ。



各種事業の状況については、ホームページをご覧ください。  
<https://www.nwec.jp>



## トピックス

### 開館40周年記念事業

#### 29年/2月 開館40周年記念展示

2月17日～12月17日の期間、女性アーカイブセンター展示室にて、特別展示「国立女性教育会館開館40周年展」を開催した。

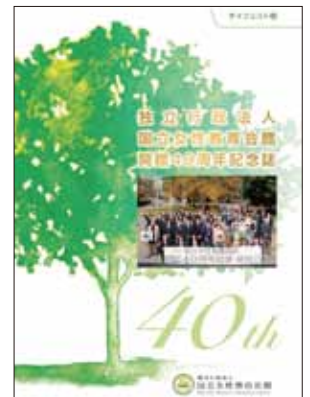
昭和52(1977)年に文部省の附属機関である国立婦人教育会館として設置されて以降、平成13(2001)年の国立女性教育会館への独立行政法人化を経て現在に至るまでの40年間、NWECの事業は時代とともに変化を続けている。展示では、40年間の事業を「多様なキャリア形成支援」「男女共同参画推進リーダーの支援」「家庭教育から次世代育成へ」「国内外の女性の人権を守る」「生涯学習促進とネットワーク形成」の5つに分け、それぞれの事業において会館が取り組んできた研修やシンポジウムを年表つきのパネルで示すことで、事業の流れを紹介した。併せて、会館所蔵の写真や事務文書をポスターや会館の出版物などとともに展示した。

展示期間終了後、平成30年1月4日～4月22日の期間、文部科学省情報ひろば企画展示室に場所を移して「開館40周年展」を開催した。



#### 11月 記念植樹

開館40周年を記念して、本館正面玄関前のクヌギの植樹式を行った。



#### 1月 記念誌発行

記念誌は開館10周年、20周年、30周年にもそれぞれ発行しているため、平成19年度から10年間のNWECの事業を掲載している。

#### 2月 NWEKボランティア 40周年記念フェスティバル

「NWECボランティア40周年記念フェスティバル」を開催。多くの参加者に学びと交流を提供するボランティアの学びと実践の場となった。





## 8月 「男女共同参画推進フォーラム」開催

男女共同参画を推進する行政、女性団体、NPO、大学、企業などの担当者や一般参加者が一堂に会し、課題の共有と解決、ネットワーク形成を図るため、「男女共同参画推進フォーラム」を8月25日～27日に実施した。

8月25日は、「変わる勇気、変えるアクション～女性も男性もともに暮らしやすい社会を創る～」と題し、山口 香氏(筑波大学体育系准教授、ソウルオリンピック柔道銅メダリスト)が基調講演を行った。暮らしやすい社会を創るためには、一人ひとりが勇気をもって声を発すること、具体的に行動することが男女に関わらず重要であるとのメッセージを投げかけた。8月26日の40周年記念シンポジウムでは、「自分が変わる、社会を変える～明日に向けてのロードマップ～」をテーマに、多賀 太氏(関西大学文学部教授)、田中 恭代氏(旭化成株式会社人事部付シニアマネージャー、前旭化成アマダス株式会社代表取締役社長)、コーディネーターNWEC理事長内海 房子により、NWECの歴史を振り返りながら、一人ひとりが力を発揮でき、暮らしやすい社会づくりを目指した未来に向けての議論を展開した。

そのほか、27日には横間 恭子監督を招いて「アッラーと私とスカーフと」の上映会を開催するとともに、3日間を通じて全国からの応募を受けたワークショップ48件、パネル展示11件の合計59件に加えて、2件の会館提供ワークショップを展開した。北海道から沖縄まで全国各地から約1,000人が参加し、学びと交流を深めた熱気あふれるフォーラムとなった。



## 12月 「NWECグローバルセミナー」開催

12月7日に「女性の活躍促進に向けた取組み—ドイツの経験から考える」をテーマとして開催した。ウルリケ・ヘルワース氏(ドイツ女性協議会国際ジェンダー平等政策顧問)が「決着のつかない問題—21世紀におけるジェンダー平等:ドイツの事例」と題した基調講演を行った。ドイツのジェンダー平等政策の根幹をなす法的措置である、すべての子どもを対象とした保育所の設置・両親手当・家族を介護するための有給休暇などについて詳細な解説があった。

後半のパネルディスカッションでは、大西 祥世氏(立命館大学法学部教授)をコーディネーターに、カレン・シャイア氏(お茶の水女子大学グローバルリーダーシップ研究所特別招聘教授)、森下 典子氏(ボッシュ株式会社取締役副社長)をパネリストに迎え、「企業における女性の活躍促進」をテーマに論議を行った。質疑応答では、フロアから多岐にわたる質問が続出し、活発な議論がかわされた。



## 施設

<https://www.nwec.jp/facility/index.html>

秩父連山を遠くに望み、都幾川に沿った自然豊かな丘陵地にある施設は10ヘクタールの敷地内にある。自然との調和を配慮し、「陽に向かい陽に帰る」のコンセプトに合わせ、東側に研修棟、西側に宿泊棟、中央に池を配置している。



女性・男性を問わず、だれでも利用できます。男女共同参画または女性・家庭・家族に関する学習をする場合や、高校・大学が教育活動として利用する場合には、一般の利用者と比べ、安い料金で利用できます。

### 《施設のご利用》 株式会社ヌエックベストサポート

NWECでは、平成27年7月からPFI\*を導入。株式会社ヌエックベストサポート(NBS)に施設の全面的な管理・運営を委託し、利用者のサービス向上を図っている。最近では、旅行サイトからも利用予約が可能となるなど、利便性の向上につとめている。



#### 〔主な取組〕

- ・宿泊室へのテレビ(A棟のみ)やアメニティの設置
- ・フェスティバルやコンサートなどの大型イベント
- ・バーベキューや鍋、デザートなど季節に合わせた料理の提供
- ・手作り教室などの文化プログラム
- ・パン・お菓子作りなどの料理プログラム
- ・ヨガや体操などの健康・スポーツプログラム
- ・サッカースクールの開催(毎週水・木曜日)
- ・SNSを活用した各種イベント配信やNWEC広報
- ・インターネット・Wifi環境の整備
- ・近隣施設と連携したお得な宿泊プログラムの提供

各施設の利用時間、料金等詳細は(株)ヌエックベストサポートまでお問い合わせください。  
<https://www.nwec-bs.jp>  
 ☎0493-62-6723

### 宿泊棟

#### ■利用時間

チェックイン 15:00  
 チェックアウト 10:00

種別	内容	A棟 (バス・トイレ付)	B棟 (トイレ付)	C棟 (トイレ付)	室数
洋室	1人用	38室	—	—	136室
	2人用	98室	28室	12室	
和室	2人用	2室	—	—	24室
	4~5人用	22室	14室	8室	
宿泊室合計		98室	42室	20室	160室

宿泊室



洋室



和室



ミーティングルーム(A棟2F)

■利用定員 約50人 ■利用時間 9:00~24:00

\*PFIとは、Private Finance Initiative(プライベート・ファイナンス・イニシアティブ)のことである。NWECでは「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」に基づき、独立採算事業としての公共施設等運営権制度(コンセッション)の活用及び施設・設備長期維持管理業務を民間事業者へ委託している。



## 実技研修棟

### ■利用時間

午前 9:00~12:00  
午後 13:00~17:00  
夜間 18:00~21:00



調理室 ■利用定員 約30人



音楽室 ■利用定員 約50人



美術・工芸室 ■利用定員 約30人



幼児室 ■利用定員 約20人



## レストラン

### ■利用時間

朝食 7:00~ 8:30  
昼食 11:30~13:45  
ティータイム 13:45~16:00  
夕食 18:00~20:00



## 施設

### 研修棟

#### ■利用時間

午前 9:00~12:00  
午後 13:00~17:00  
夜間 18:00~21:00



講堂エントランス前



大会議室 ■利用定員 160人(傍聴席38を含む)



講堂 ■利用定員 602人



マルチメディア研修室 ■利用定員 30人  
(午前・午後のみ)



中会議室 ■利用定員 40人



小会議室 ■利用定員 12人



研修室 1~3F

#### 研修室

研修室	室数
150人室	1
99人室	1
48人室	4
36人室	1
24人室	2
20人室	6

### 体育施設

#### ■利用時間

(体育施設、日本家屋施設とも。テニスコートは午前・午後のみ)

午前 9:00~12:00  
午後 13:00~17:00  
夜間 18:00~21:00



#### テニスコート

■全天候型  
スパックサンドコート  
2面



#### 体育館

■バレーボール2面  
■バドミントン3面  
■フットサル1面  
■バスケットボール1面

### 日本家屋施設



#### 日本家屋「響書院」

茶道、華道、着付け、かるた、百人一首、作法教室など日本の伝統・芸術・文化に関する学習や交流に利用

■茶室 2部屋 (15畳、4.5畳)  
■座敷 1部屋 (10畳)



#### 茶室「和庵」

京都裏千家家元の今日庵の「又隠(ゆういん)」を模した本格的な茶室

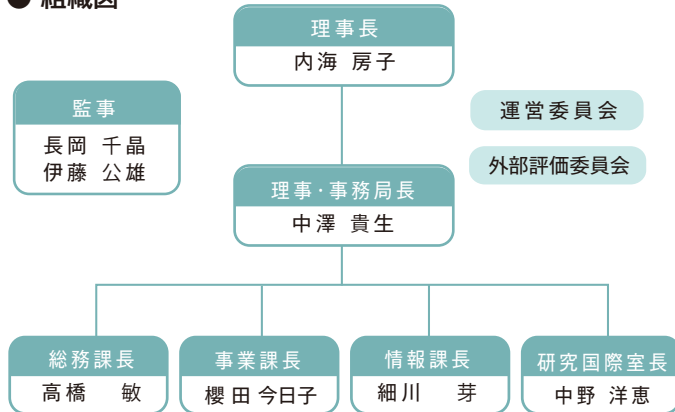
■茶室 (4.5畳)  
響書院とセットでの貸出



# 組織・決算

平成30年4月1日現在

## ● 組織図



## ● 運営委員会委員

氏名	現職
岩熊 眞起	特定非営利活動法人 女性技術士の会 前理事長
大竹美登利	東京学芸大学 名誉教授
柿沼トミ子	全国地域婦人団体連絡協議会 会長
久留島典子	東京大学 史料編纂所 教授
渋澤 幸	埼玉県男女共同参画推進センター 所長
高口 努	独立行政法人 教職員支援機構 理事
高田 直芳	埼玉県立浦和第一女子高等学校 校長
多賀 太	関西大学 文学部 教授
高松 和子	公益財団法人 21世紀職業財団 業務執行理事・事務局長
武石恵美子	法政大学 キャリアデザイン学部 教授
根岸 茂文	一般社団法人 埼玉県経営者協会 専務理事
納米恵美子	特定非営利活動法人 全国女性会館協議会 代表理事
平林久美子	全国公立小中学校女性校長会 会長
福田 公子	首都大学東京 理学部 准教授
實生 律子	国際婦人年連絡会 常任委員
村上由美子	OECD東京センター 所長
村松 泰子	公益財団法人 日本女性学習財団 理事長
山田 昌弘	中央大学 文学部 教授

## ● 歴代館長・理事長

在任期間	職名	氏名
昭和52年7月1日 ~ 昭和57年7月9日	館長	縫田 嘩子
昭和57年7月10日 ~ 昭和62年3月31日	館長	志熊 敦子
昭和62年4月1日 ~ 平成7年3月17日	館長	前田 瑞枝
平成7年4月1日 ~ 平成13年3月31日	館長	大野 曜
平成13年4月1日 ~ 平成16年3月31日	理事長	大野 曜
平成16年4月1日 ~ 平成23年6月30日	理事長	神田 道子
平成23年7月1日 ~ 現在	理事長	内海 房子

## ● 外部評価委員会委員

氏名	現職
犬塚 協太	静岡県立大学 国際関係学部 教授 / 同 大学 男女共同参画推進センター長
斎藤 悦子	お茶の水女子大学大学院 基幹研究院 人間科学系 准教授
笹井 宏益	玉川大学 学術研究所 教授
長田 三紀	全国地域婦人団体連絡協議会 事務局長
萩原 貴子	株式会社 グリーンハウス 取締役・Chief Health Officer

## ● 決算

(平成28年度、単位:百万円)

収入		支出	
運営交付金	524	業務経費	287
運営権対価等収入	45	一般管理費	260
その他	145	その他	144
合計	714	合計	691

※百万円未満を四捨五入しているため、合計と一致しない。



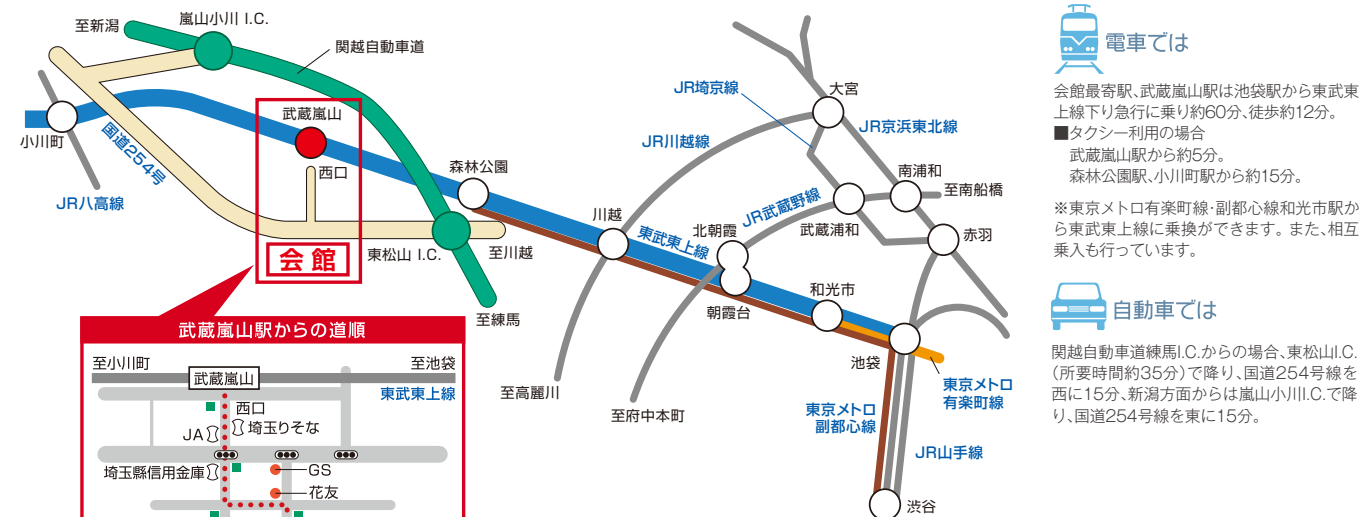
# 国立女性教育会館ボランティア

NWECは、ボランティアを事業運営における大切なパートナーとして受け入れ、ボランティア自身の多様な生涯学習を促進する場を提供している。

① 情報提供及び交流	連絡会議(年3回)を実施するとともに、会館内にボランティアルームを設置し、会館とボランティア、またボランティア相互の連絡・交流を図っている。
② 研修活動	ボランティアと会館がともに学ぶための研修事業として「ボランティア活動研究会」(年1回)を実施している。また、全国から多数の参加者が集う「男女共同参画推進フォーラム」をボランティア活動に必要な基礎的な研修として位置づけている。
③ 自主活動	ボランティアの自主的なグループの活動・提案を受け入れ、会館はそれをバックアップしている。

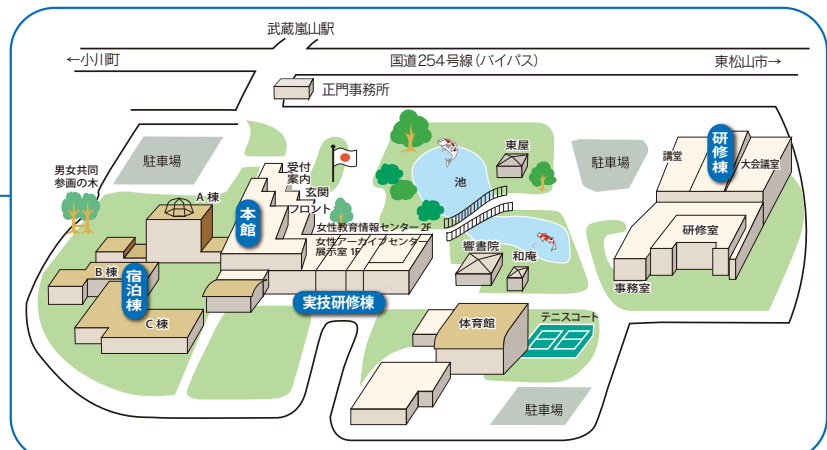
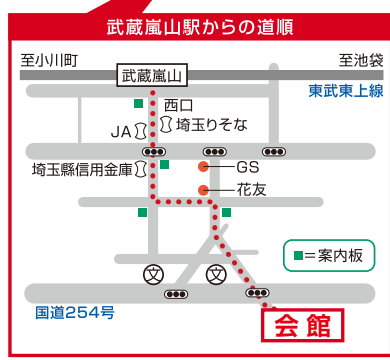


## 交通のご案内



**電車では**  
 会館最寄駅、武蔵嵐山駅は池袋駅から東武東上線下り急行に乗り約60分、徒歩約12分。  
 ■タクシー利用の場合  
 武蔵嵐山駅から約5分、  
 森林公園駅、小川町駅から約15分。  
 ※東京メトロ有楽町線・副都心線と光市駅から東武東上線に乗り換えができます。また、相互乗入も行っています。

**自動車では**  
 関越自動車道練馬I.C.からの場合、東松山I.C. (所要時間約35分)で降り、国道254号線を西に15分、新潟方面からは嵐山小川I.C.で降り、国道254号線を東に15分。



独立行政法人 国立女性教育会館  
 National Women's Education Center  
 〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷 728 番地 TEL 0493-62-6713

web: <https://www.nwec.jp>  
 facebook: <https://www.facebook.com/NWECJapan>  
 E-mail: [webmaster@nwec.jp](mailto:webmaster@nwec.jp)

リサイクル適性  
 この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。